



第 10 回 標準処方研究フォーラム

～ 主薬の溶解性ならびに含量が異なる場合の連続生産 ～

本フォーラムは固形製剤製造における諸問題について企画委員が実際に立会実験を行い、そのデータに基づいて参加者一同で討論することを特長としております。第 1 回のフォーラムから「デザインスペースを指向したパラメーター解析」をメインテーマに据え、CQA(重要品質特性)として第 1 回から第 4 回までは『滑沢度』、第 6 回までは『造粒度』、第 7 回は『滑沢度とスケールアップ』、第 8 回からは『連続生産(連続造粒)』についての検討を開始し、第 9 回では『連続生産』について、「PAT ツールを適用した連続生産」、「含量均一性に着目した連続生産」、「連続生産におけるデザインスペースの構築」という 3 つの面について検討を行い、その成果を発信してまいりました。連続生産について 3 年目となります本年度は更に実際の生産現場で起こりうる状況を踏まえた主薬の溶解性ならびに含量が異なる場合の連続生産について検討いたしました。これらの結果に基づいた活発な討論を皆さんと行いたいと考えています。

また、今年度の特別講演では、昨年度のフォーラムの総合討論において PMDA の立場からご発言くださった独立行政法人・医薬品医療機器総合機構の松田嘉弘先生を特別講演にお招きし、「医薬品連続生産に対する PMDA の取り組み」という演題にてご講演頂きます。このように今回のフォーラムも、これまで以上に興味深く現場に即する内容となっております。

皆様の業務上の一助となり、かつ、実り多い討論の場となりますよう、多くの皆様のご参加を企画委員一同心よりお待ちしております。

と き	平成 29 年 11 月 24 日(金)	
	講演会 10:00～17:05	懇親会 17:15～
と ころ	じゅうろくプラザ	
	〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 1-10-11 (岐阜駅直結)	
主 催	粉体工学会・製剤と粒子設計部会	
共 催	(社)粉体工業技術協会・粒子加工技術分科会	
参 加 費	講演会	<u>主催・共催学協会員</u>
	会社関係	¥13,000
	大学・公立研究機関関係	¥ 8,000
	学生	¥ 4,000
	<u>非会員</u>	¥20,000
	懇親会	¥ 5,000

振 込 先 金融機関 十六銀行黒野支店
 口座名 せいざいとりゅうしせつけいぶかい ひょうじゅんしよほうふ ん ー ら む たいひやう たけうちひろみ
 製剤と粒子設計部会 標準処方フォーラム 代表 竹内洋文
 口座番号 (普) 1557481

※ 11 月 17 日(金)までに、お振込みください。

申 込 方 法 添付の専用の申込用紙を用いて Fax、または E-Mail によりお申込みください。

FAX:(058)230-1022, E-Mail: rs-apply@gifu-pu.ac.jp

申込用紙は、部会 HP でもダウンロードできます。URL: <http://www.ppd-gifu.com/>

申 込 締 切 平成 29 年 11 月 15 日(水) (定員 150 名になり次第締め切らせていただきます)

問合せ先 〒501-1196 岐阜市大学西 1-25-4 TEL・FAX (058)230-1022
岐阜薬科大学 薬物送達学大講座 製剤学研究室内 製剤と粒子設計部会事務局 吉安
E-Mail: ryuushi-sekkei2005@cream.plala.or.jp
パネル展示 申し込み締め切り:平成 29 年 10 月 20 日(金)、1 ブース ¥20,000-
同時募集 詳細は、上記までお問い合わせください。

ープログラムー

総合司会：田原 耕平（岐阜薬科大学）

- 10:00~10:05 開会の挨拶 竹内 洋文(製剤と粒子設計部会 部会長、岐阜薬科大学)
- 10:05~11:00 特別講演 座長 湯浅 宏 (松山大学薬学部)
『医薬品連続生産に対する PMDA の取り組み』
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 松田 嘉弘 先生
- 11:00~11:35 立会実験概要 座長 谷野 忠嗣 (沢井製薬)
連続生産実験内容説明 山田 昌樹 (シミック CMO)
- 11:35~13:00 ランチョンセミナー・パネル展示 座長 大島 孝雄 (科研製薬)
- 13:00~13:45 実験結果報告(1) 座長 津江 晋一郎 (日本曹達)
『連続生産における PAT の適用 (アスコルビン酸添加系)』
松井 航 (パウレック)、石川 達也 (武田コンシューマーヘルスケア)
- 13:45~14:30 実験結果報告(2) 座長 星野 貴史 (信越化学工業)
『連続生産における薬物の含量均一性 (エテンザミド添加系)』
浅井 直親 (ダルトン)、則岡 正 (アステラス製薬)
- 14:30~15:15 休憩ならびにパネル展示
- 15:15~16:15 実験結果報告(3) 座長 内田 浩 (杏林製薬)
『連続生産におけるデザインスペースの構築 (アセトアミノフェン添加系)』
寺田 敬 (フロイント産業)、武田 泰浩 (キッセイ薬品工業)
- 16:15~16:30 実験結果の総括 信藤 友宏 (大日本住友製薬)
- 16:30~17:00 総合討論 司会 谷野 忠嗣 (沢井製薬)
- 17:00~17:05 閉会の挨拶 湯浅 宏 (松山大学 薬学部)
- 17:15~ 懇親会 じゅうろくプラザ 1F ラ・ローゼ・プロヴァンスにて



「第 10 回 標準処方研究フォーラム」

参加お申込み方法

右のお申込み用紙に必要事項を記入の上郵送または FAX にて事務局宛にお送りいただくか、またはメールにてお申込み下さい。E-mail: ryuushi-sekkei2005@cream.plala.or.jp (参加お申込み締切 平成 29 年 11 月 15 日) また、お申込みと同時に、下記口座に参加費のお振込みをお願いいたします。振込用紙の指定はありません。お振込みが確認できましたら、11 月 20 日(月)までに参加証を E-mail にて添付送信いたします。参加証がない場合は参加できませんので、それまでに届かない場合には、事務局までお問い合わせ下さい。なお、講演要旨集に関しましては、11 月第 3 週末(フォーラム開催の前の週)までにお届いたしますので、期間中要旨集の受取が困難な方は事務局までご連絡下さい。

参加お申込み先

〒501-1196 岐阜市大学西 1-25-4
岐阜薬科大学 薬物送達学大講座 製剤学研究室内
製剤と粒子設計部会事務局(吉安)
TEL・FAX:(058)230-1022
E-mail: ryuushi-sekkei2005@cream.plala.or.jp

参加お申込み締め切り 平成 29 年 11 月 15 日(水)

参加費

[講演会]

粉体工学会・日本粉体工業技術協会会員(協賛学協会員は非会員扱いです。)

会社関係	¥13,000
大学・公立研究機関関係	¥8,000
学生	¥4,000

非会員	¥20,000
-----	---------

[懇親会]

	¥5,000
--	--------

参加費振り込み先

金融機関: 十六銀行 黒野支店
口座名: 製剤と粒子設計部会 標準処方フォーラム 代表 竹内洋文
口座番号: (普)1557481

振り込み期限 平成 29 年 11 月 17 日(金)

※複数名分をまとめてお振込みの場合は、その旨を事務局までご連絡下さい。一旦納入された参加費等は、原則としてお返しいたしかねますのでご了承下さい。



「第 10 回 標準処方研究フォーラム」

参加お申込み用紙

		平成 29 年	月	日
ふりがな				男・女
参加者氏名				演者 <input type="checkbox"/>
所属学協会名	1. 粉体工学会 2. 日本粉体工業技術協会			一般・学生
大学・会社名	TEL			
	FAX			
	メールアドレス			
連絡先(住所)	〒			

※懇親会参加の有無(参加費 ¥5,000) 参加 ・ 不参加

メールアドレスの記入漏れにご注意ください。

[送金内容] (懇親会参加の方は懇親会費も含んだ金額をご記入ください。)

--	--	--	--	--	--

 円

- ・複数名で合算の送金の場合はチェックを入れて下さい。
- ・一旦納入された参加費等は、原則としてお返し致しかねますのでご了承ください。
- ・参加申し込み後、ただちにお振込いただけない場合は、下記にご記入ください。

<送金が遅れる場合> _____ 月 _____ 日 頃振込予定

[備考]